

教材教具および題材	学部	授業名 (主たる教科領域)	執筆者
いろいろバスあそび	小	グループ学習 高学年マンボウ (国語、図工)	河合和代 柴田真美

<ねらい>

- 絵本を見たり聞いたりする中で、場面や言葉の面白さを感じながら教師とやりとりすることを楽しむ。
- 様々な活動をたっぷりと楽しむ中で、手指の働きを高めるとともに身近な道具を使えるようになる。
- バスを自分から操作して、あそびの活動に意欲的に取り組む。

<内容(作成方法・使用方法・工夫点など)>

- 『いろいろバス』(tupera tupera 作、大日本図書)の読み聞かせを行った後、バスやバスに乗せるお客さんの模型を作った。画用紙にバスやお客さんの絵を線のみで描いたものに、児童が色鉛筆等を使って色を塗る活動や、周りをはさみで切る活動を行った。また、道路を作る活動では色紙を線通りに切り、セロハンテープでつなぎ合わせる活動に取り組んだ。
- バスの運転手さん役やお客さん役を決め、バスを走らせたり、お客さんを色分けして乗り降りさせたりする活動を行った。



<良かった点・改善点(児童生徒の反応を含め)>

- 読み聞かせをくり返し聞くうちに、バスの色や乗り降りするお客さんの名前を自信を持って答えられるようになってきた。
- バスやお客さんの色塗りをするときには、好きな色や好きな形を選んで意欲的に色を塗ることができた。
- 道路を作るときには、色紙に書かれた線をよく見て、線の通りに連続切りできるように根気よく取り組む姿が見られた。セロハンテープで2つの紙を貼り合わせるときには、2つの紙をずれないように押さえる補助をしてもらうと、うまく貼り合わせることができる児童もいた。

<その他(材料、費用、購入先等)>

画用紙、色紙、色画用紙、色鉛筆、クレヨン、はさみ、セロハンテープ